

稲沢市平和らくらくプラザの指定管理者候補者の選定結果について

1 施設の名称

稲沢市平和らくらくプラザ

2 申請団体数

1 団体

3 選定方法

- (1) 今回の選定にあたっては、下記の理由から非公募とし、日本水泳振興会・三菱電機ライフサービスグループに限定して審査を行った。
- (2) 申請団体が1団体のみであったため、当該団体から提出された申請書類（事業計画書収支予算書等）の内容について、施設所管課による第1次審査（書類審査）の後、稲沢市福祉施設指定管理者候補者選定委員会において、当該団体が指定管理者として適当かどうか選定審査基準に基づく審査を行い、選定した。

[特命理由]

ア コロナ禍における施設利用者数、光熱水費が安定しないため、次期指定期間は事業者の持つノウハウが十分に活かしづらい環境にあり、新たな事業者参入の阻害要因となりかねず、公募による競争原理によって指定管理者制度の本来の趣旨を実現することが困難な状況である。

イ 当施設は平成14年に建築され19年が経過しており、その間にバーディプールの天井鉄骨部分に腐食が発見され、安全面から利用を休止したことや、ボイラ修繕のため浴場の利用を休止する等大規模改修工事が必要となった。係る中、全館空調機の耐用年数が20年程度と見直しの時期にきており、対応方針を検討する必要がある。

ウ 平成29年3月に策定した稲沢市公共施設等総合管理計画の見直し時期がきており、令和4年3月の改定に向けて企画政策課が主体となり検討を進めている。公共施設全体の方向性を検討する中で、稲沢市平和らくらくプラザについても施設のあり方を検討する必要がある、今回の公募において計画を反映した内容とする必要がある。

以上のような理由から今回の募集については、指定期間1年とし、今日までの施設サービスの継続性を鑑み、現在の指定管理者である日本水泳振興会・三菱電機ライフサービスグループに募集を限定するものとした。

4 選定審査基準

- (1) 審査配点表（選定委員会委員1人あたり）

審査項目	得点（上限）
1 利用者の平等な利用を確保することができるものであるか	5点

(平等利用の確保)	利用者に対するサービスの向上	15点
2 施設の効用を最大限に発揮するものであるか (施設の効用発揮)		25点
3 施設の管理に係る経費の削減が図られるものであるか (管理経費の削減)		10点 ※下記参照
4 施設管理を安定して行う物的・人的能力を有していること (安定経営能力)	施設の適切な維持管理	25点
	経営の健全性	20点
合	計	100点

※管理経費の削減

次に掲げる2つの視点から審査を行うものとする。

①管理経費の削減が図られているか（上限5点）

・次の計算式により算出する。

【計算式】

$$\text{評価点} = (\text{指定管理料算定参考額} - \text{提案額}) \div \text{指定管理料算定参考額} \times 100$$

- ・指定管理料算定参考額（新規導入の場合は上限額）に対して、1%削減するごとに1点加点する
- ・算出結果の小数点第2位を四捨五入し評価点とする。
- ・算出結果が「評価点>配点」の場合は、「評価点=配点」とする。

②経費の削減が利用サービスの低下を招いていないか（上限5点）

(2) 選定条件について

選定委員会委員1人の採点上限を100点とし、委員5人の得点数の合計が、総得点数（500点）の6割（300点）未満の場合は、指定管理者の候補者に該当しないものとする。

5 選定結果

審査項目	申請団体	日本水泳振興会・ 三菱電機ライフサービスグループ
1 平等利用の確保	利用者の平等な利用の確保 (25点)	21点

	利用者に対するサービスの向上 (75点)	55点
2	施設の効用発揮 (125点)	94点
3	管理経費の縮減 (50点)	14点
4	安定経営能力	
	施設の適切な維持管理 (125点)	101点
	経営の健全性 (100点)	79点
合計 [500点]		364点
選 定 理 由		<p>申請団体は1団体のみであったが、提出された申請書類（事業計画書、収支予算書等）の内容について、当該団体から説明を受け、質疑を行い、審査項目に沿って採点する方法で選定審査を行った。その結果、得点数合計が配点の6割（300点）を上回り、選定条件を満たした。</p> <p>当該団体は、今日まで当該施設を指定管理者として適切に管理してきた実績があり、今後も引き続き安定かつ適正な業務の遂行が期待できると評価した。</p> <p>また、新型コロナウイルスの影響で施設管理も困難なところがあるが、臨機応変に利用者サービス向上へ取り組む姿勢等、各種事業の提案内容を評価し、候補者として選定したものを。</p>

6 指定管理者候補者

団体の名称：日本水泳振興会・三菱電機ライフサービスグループ

所在地：名古屋市中区丸の内二丁目8番27号アクシス丸の内3A

7 選定委員会委員

栗林 芳彦	名古屋文理大学 教授
近藤 康之	税理士
高木 央	稲沢市市民福祉部次長兼高齢介護課長
梶浦 孝秀	稲沢市市民福祉部福祉課長
服部 美樹	稲沢市市民福祉部子育て支援課長

8 指定期間

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

9 選定の経過

- | | |
|----------------|--------------------|
| ○募集要項等の配布 | 令和3年7月29日から8月4日まで |
| ○申請書類の受付 | 令和3年8月16日から8月27日まで |
| ○第1次審査（書類審査） | 令和3年8月30日から9月13日まで |
| ○指定管理者候補者選定委員会 | 令和3年10月7日 |